



第一地区住民自治協議会

住民自治協議会だより

第一地区は 茂菅・新諏訪町・西長野・桜枝町・狐池・花咲町・往生地・横沢町・西町上・西町南・上西之門町・西之門町
栄町・立町・若松町・旭町・長門町の 17 町で、令和 3 年 6 月現在世帯数 2,812 戸、人口 5,563 名（市統計）です。

発行：第一地区住民自治協議会

新型コロナウイルス感染拡大の状況下、定期総会は 2 年連続で開催できませんでした。総会議案は書面評決方式にて審議し承認されました。

会長挨拶

私は前年度において会長の退任を表明し、新会長の選出が行われましたが、新会長候補者の方々には様々な事情から受諾を頂けませんでした。そのような状況の中、新型コロナウイルス感染の重要な渦中で、従来の事業や新たな事業づくり等に、経験を活かし会長を継続との強い要請があり、力量不足ですが引き受けさせて頂くことになりました。

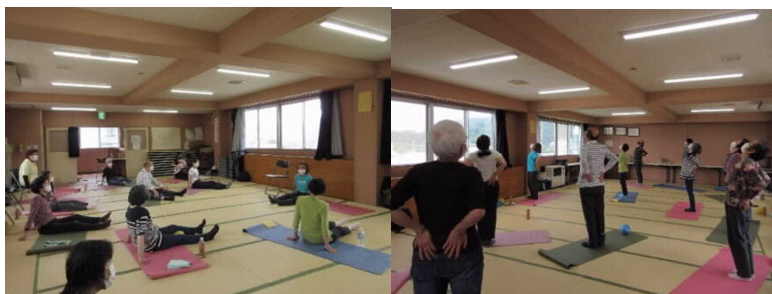
各区長をはじめとする住民の方々や地域活動支援課・住民自治協議会事務局等のご指導・ご支援を賜わりながら、「新型コロナ対策・偏見差別」「住民の安心安全対策」「継続可能なまちづくり」等に取り組んで参りたいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。 小池公雄

令和 3 年度役員

会長	小池公雄	新諏訪町前区長			
総務部会長	関 充雄	長門町区長	同左 副部会長	清水利夫	茂菅区長
安全防災部会長	小林千明	立町区長	// 副部会長	池田勝彦	若松町区長
健康福祉部会長	西澤利治	西長野区長	// 副部会長		
環境部会長	齋藤安彦	上西之門町区長	// 副部会長	森木義行	往生地区長
教育文化部会長	黒井 昭	桜枝町区長	// 副部会長	中村 勝	新諏訪町区長
会計	深澤典夫	西町上区長			
監事	塩澤一郎	民生児童委員協議会会長			
監事	萱津房子	白バラ会会長			

部会事業報告

筋力バランスアップ体操を開催 健康福祉部会



コロナ禍でとくに高齢者の運動不足が心配されます。健康福祉部会では本年度様々な体操の機会を設けようと考えています。その第一弾として、筋力バランスアップ体操を第一地区公民館で5/25・6/8・6/22の3回開催しました。第一地区公民

館に入場制限がある為、今回は公民館周辺の方々に13名を定員にして行いました。林部美代子講師の指導で、参加者は第一地区住自協として初めての体操に取り組みました。参加者からは「普段使わない筋肉を使えて良かった／こんなに多くの筋肉があるとは知らなかった」などの声が聞かれました。他の地域での開催も回覧でお知らせします。ご参加お待ちしております。

善光寺ゆかりの三社と県歌「信濃の国」発祥の地めぐり 健康福祉部会

5月28日（金）の午前中。参加者12名で、西方寺⇒長野電燈発祥碑⇒武井神社⇒ちよっくらおいらい館⇒畳差し⇒長野天神⇒長



野聖救主教会日本聖公会救主聖堂⇒加茂神社⇒妻科神社⇒信濃の国作者旧居跡⇒長野県師範学校跡⇒鳴子清水の各所を、長野市ガイド協会の講師2名の説明を受けながら散策しました。



参加者からは、「日頃から知ってはいたが、改めて各々の場所の由来を説明してもらい興味が深まった」「天気も良く、普段見れない所も詳しく説明頂き楽しかった」等の感想を頂き好評でした。

防災士資格取得者募集

防災士とは、阪神淡路大震災の教訓を踏まえて、発生しうる災害に対し、正しい知識と適切な判断力を兼ね備えた人材を育てようとして生まれた民間資格で、現在第一地区には11名の男性の防災士が活動しています。安全防災部会では更なる拡充と女性の防災士の養成を目指しています。女性の視点での防災は避難所運営等に重要と言われています。

資格取得に係る費用は住自協にて補助します。資格取得にご興味のある方は第一地区住自協事務局までご連絡ください。

第一地区の歴史を訪ねて

コロナ禍に憂慮する日々ですが、過去にはコレラの蔓延から衛生的な水を求めて格闘する先人たちがいました。長野市の上水道の草分け、往生地浄水場の歴史を訪ねます。

戸隠水源からの待望の水道(往生地浄水場)

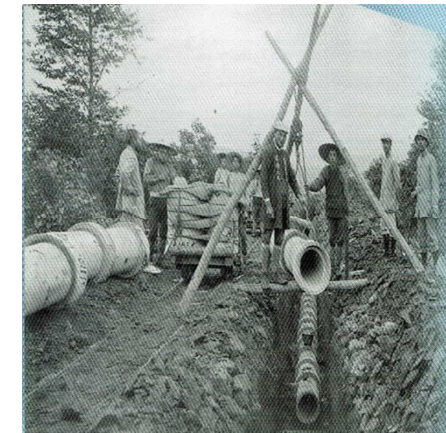
水道が無い時代の善光寺平は、数軒で一つの井戸を共有する生活でした。扇状地の第一地区の多くの井戸は深井戸で、汲み上げ各戸への運搬は大変で、食事に洗濯等に不自由な生活でした。川の近くの方は川の水で洗いものだけでなく、飲んだり調理したりして健康を損な



創設以来の水源、戸隠水源貯水池

った事もありました。明治に入り、近代水道布設を望む市民の声が高まり、長野町では明治6年に戸隠から箱清水まで引水、ところが基礎工事の不良により通水を断念し、その後も第1次第2次と計画が立てられましたが、経費や日露戦争により挫折してきました。

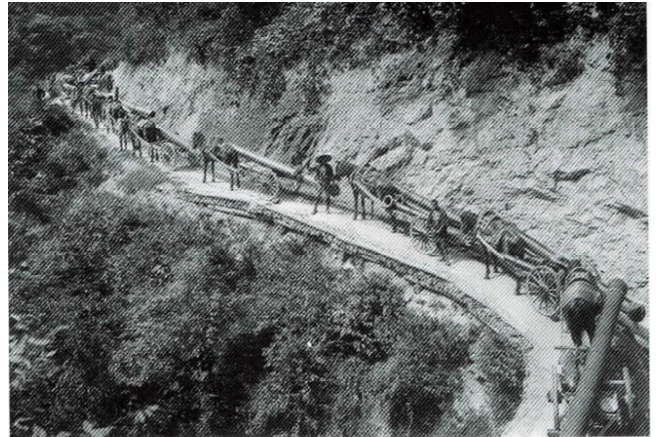
明治15年8月29日には当地区でもコレラが発病し死者も新聞報道され、全国ではこの年の9月26日では患者42,298人、死亡24,118人と報告され、衛生面について誰もが大変心配しておりました。また善光寺・長野町・県庁等の大火が発生しましたが、初期消火ができなく、水不足は深刻な課題であり続けました。



大正3年の導水管敷設工事

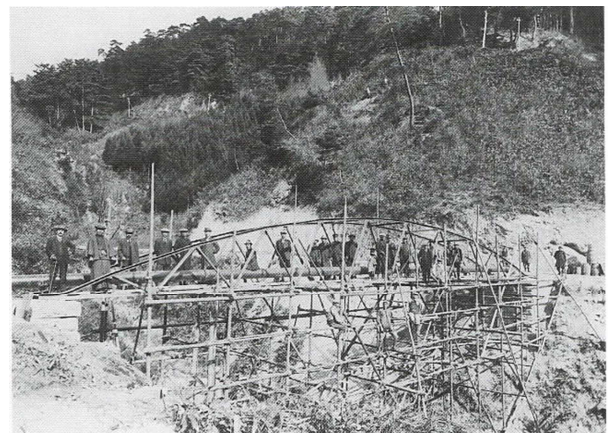
明治33年に長野市が誕生し、長野市議会では明治44年、水源を戸隠に求めて貯水池をつくり、往生地に浄水場をつくり、市内への上水道敷設という大事業を行うことが決まりました。

大正2年に戸隠の瑠璃沢・東沢・越水・熊の塔の水源を中社近くに集めて貯水池をつくり始めました。この工事は機械も無く人力だけの過酷な作業で、積雪・凍結の冬期は工事が出来ず、予定よりも1年多くかかりました。



戸隠水源に導水管を運ぶ(大正3年) 戸隠水源までの山道は馬車で資材を運び上げた。急坂の連続で材料運搬は困難をきわめた

この貯水池から水道線路は飯綱原の南方を経て芋井赤渋沢(現空の湯)門沢から往生地のろ過池まで、全長16kmにも達しています。この険しい山道を切り開き、馬車で導水管を運び上げるといふ困難な事業でありました。往生地から飯綱高原へ徒歩で向かう途中に、門沢の道端に丸いコンクリートの形の水道線路がありましたが、水道線路は今でも使われています。そのコンクリートも、中の鉄管も工事当初のものもあり、当時の技術力や製品の質の高さに驚きます。



この貯水池から水道線路は飯綱原の南方を経て芋井赤渋沢(現空の湯)門沢から往生地のろ過池まで、全長16kmにも達しています。この険しい山道を切り開き、馬車で導水管を運び上げるといふ困難な事業でありました。往生地から飯綱高原へ徒歩で向かう途中に、門沢の道端に丸いコンクリートの形の水道線路がありましたが、水道線路は今でも使われています。そのコンクリートも、中の鉄管も工事当初のものもあり、当時の技術力や製品の質の高さに驚きます。

往生地のろ過池は緩速ろ過といわれ、戸隠水源が良質であるので、少ない薬品で可能なろ過の装置です。緩速ろ過に敷き詰められたろ過砂は、原水中の濁りや細菌等の浮遊物をろ過すると共に、砂の表面に藻類や微生物、バクテリアを繁殖させることで「生物ろ過膜」を形成させ、それによって、水中に溶け込んだ物質を分解・除去することが可能となります。この往生地浄水場からの水道は善光寺周辺・長野駅までの2615戸に待望の水道で配水されました。

大正4年に、この水道工事の落成式が盛大に開催され、城山公園の初代の噴水は水道の完成を祝い記念しつくられたものでした。長年の夢であった「いつでも、安心して飲める水、安全で便利に使える水が、手に入る幸せや喜び」は計り知れませんでした。この事業によって清冽純良な飲料水は勿論、まん延していた伝染病は減少し、火災の消火や生活用水等の住民の



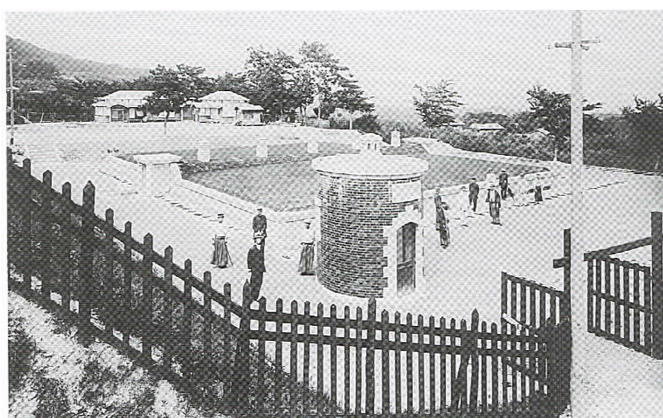
大正4（1915）年の水道敷設を記念して設置された旧城山公園の噴水（2代目）。写真提供：（財）ながの観光コンベンションビューロー

永久福利、県庁・市役所・師範や長野中学校等の存在と共に、長野市の礎づくりや発展に大きく貢献しました。この近代水事業の評判は瞬く間に広がり、全長野市域へと拡がっていきました。

人口が増えて、犀川以北の善光寺平は、夏目ヶ原浄水場が昭和4年、犀川浄水場が昭和35年につくられ、現在は3つ浄水場でろ過された水道が合わさり、水不足にならないように配慮されています。

私達は当たり前水道を利用していますが、先人の崇高な理念・熱意や難事業の奮闘努力等を心に刻み忘れてはなりません。[文 小池公雄]

（文中の写真は長野市上下水道局パンフレットから許可を頂き掲載しました）



大正4年（1915）竣工時の往生地浄水場



現在の往生地浄水場

◆第一地区住民自治協議会事務局

〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町2201番地20 権堂イーストプラザND1階

電話：262-1217（FAX兼）

E-mail：dai1@clock.ocn.ne.jp